

精神医学 第 61 巻 総目次

2019 年 (第 1 号～第 12 号)

数字は通巻頁数, () は号数

〔特 集〕

高齢者のメンタルヘルス

特集にあたって……………栗田主一…3(1)

高齢者のこころの健康問題と老年精

神医学の役割……………池田 学…5(1)

高齢者における睡眠の問題とメンタ

ルヘルス……………金野倫子…11(1)

高齢者の不安障害とメンタルヘルス

……………忽滑谷和孝…23(1)

高齢者の気分障害とメンタルヘルス

……………藤瀬 昇…31(1)

高齢者の妄想性障害とメンタルヘル

ス……………袖長光知穂・堀 宏治…39(1)

老年期の統合失調症とメンタルヘル

ス……………新里和弘…47(1)

認知症高齢者のメンタルヘルス……………水野 裕…55(1)

老年の超越と高齢期のメンタルヘル

ス……………増井幸恵…65(1)

高齢者の英知と創造性……………黒川由紀子…73(1)

ICD-11 のチェックポイント

特集にあたって……………丸田敏雅…237(3)

統合失調症関連障害……………近藤伸介…239(3)

気分障害群……………本村啓介…245(3)

PTSD 関連疾患—DSM-5 との比較

を軸に……………大江美佐里・前田正治…255(3)

強迫症および関連症群

……………松永寿人・向井馨一郎・山西恭輔…261(3)

ゲーム障害……………中山秀紀…271(3)

強迫的性行動症……………原田隆之…277(3)

身体苦痛または体験症群……………山田和男…285(3)

パーソナリティ障害……………松本ちひろ…293(3)

児童思春期の精神障害……………松本ちひろ…301(3)

性別不合……………松永千秋…311(3)

統合失調症の治療ゴールをめぐる

特集にあたって……………鈴木道雄…363(4)

薬物療法の視点から—薬物療法を通

して何ができるか……………渡邊衛一郎…365(4)

心理社会的治療の視点から……………安西信雄…375(4)

認知機能障害の視点から……………兼子幸一…383(4)

地域生活支援の視点から……………野口正行…393(4)

身体的健康の視点から……………菅原典夫…403(4)

早期介入・早期支援の視点から—統

合失調症の治療ゴールの検討

……………松本和紀・富本和歩・佐藤祐太郎・大野高志

……………411(4)

自助と自治支援の視点から—病いの

語りがもつ力の効用に着目して

……………栄 セツコ…423(4)

当事者・家族の視点から……………目良賢治…433(4)

脳画像研究の臨床応用可能性

……………高橋 努・鈴木道雄…439(4)

ゲノム医療の視点から

……………木村大樹・尾崎紀夫…447(4)

精神医学における主観と主体

特集にあたって……………福田正人…497(5)

身体医学における主体性と価値観

……………尾藤誠司…499(5)

主体性の精神医学—精神病理学と生

物学とが重なるところ……………前田貴記…507(5)

当事者の主体性を精神科医療が阻害

しないためには……………中西三春…517(5)

パーソナルリカバリーの主観と主体

性……………金原明子・澤田欣吾…525(5)

居場所の臨床としてのハウジングフ

ァースト……………熊倉陽介…533(5)

主体感の認知神経機構

……………今泉 修・浅井智久・高橋英彦・今水 寛

……………541(5)

統合失調症の基本的障害の抽出—主

体性の表れとしての眼球運動を用

いて……………小島卓也・松島英介…551(5)

精神疾患の主観的症状理解に向けた

脳科学からの視点……………柳下 祥…561(5)

マインドフルネス療法は他の精神療法と何が違うのか？

特集にあたって……………佐渡充洋…625(6)

マインドフルネス療法の基本的なア

プローチ……………佐渡充洋…627(6)	不安関連疾患と光…………吉池卓也・栗山健一…927(8)
認知行動療法 再考—マインドフル	高照度光療法器の活用
ネス認知療法が重視している“脱	……………三浦 淳・湯浅友典・相津佳永…935(8)
中心化”に焦点を当てて…………中野有美…637(6)	光と動物の季節性行動……………吉村 崇…945(8)
マインドフルネスと精神分析との対	高齢者の精神科救急・急性期医療
話……………白波瀬丈一郎…647(6)	特集にあたって……………栗田主一…991(9)
アクセプタンス&コミットメント・	超高齢社会における精神科救急・急
セラピー (ACT) からみたマインド	性期医療の課題……………小田原俊成…993(9)
フルネス……………高畠 聡・近藤真前…655(6)	一般救急医療における認知症医療は
行動活性化からみたマインドフルネ	どうあるべきか……………武田章敬…1001(9)
ス	精神科救急における高齢者医療はど
神人 蘭・高垣耕企・香川美美・吉野敦雄	うあるべきか……………長谷川花・杉山直也…1011(9)
岡本泰昌……………663(6)	一般病院における高齢者のせん妄マ
森田療法とマインドフルネス……………新村秀人…671(6)	ネジメント……………和田 健…1019(9)
仏教心理学からみたマインドフルネ	一般病院における高齢者の認知症マ
ス……………井上ウィマラ…683(6)	ネジメント……………古田 光…1031(9)
内観療法からみたマインドフルネス	精神科病院における高齢者の精神科
……………真栄城輝明…693(6)	救急・急性期医療……………中村 満…1039(9)
今再び問う、内因性精神疾患と心因性精神疾患の概念	高齢者のがんと精神科急性期医療
特集にあたって……………井上 猛…739(7)	……………小川朝生…1049(9)
内因性概念と心因性概念の歴史と現	社会的困難状況にある精神障害をも
状—歴史から学ぶこと……………橘川清人…741(7)	つ高齢者への緊急対応—東京都認
出来事としての内因性精神病—エン	知症専門医療事業での経験を踏ま
ドン・出来事・中動態	えて……………橋本直季・東出 香・熊谷直樹…1057(9)
……………清水健信・松本卓也…749(7)	トラウマインフォームドケアと小児期逆境体験
臨床医からみた内因/心因……………小野泰之…761(7)	特集にあたって……………金生由紀子…1107(10)
統合失調症における内因性概念……………針間博彦…769(7)	トラウマインフォームドケアと小児
非定型精神病概念の再考……………須賀英道…777(7)	期逆境体験……………亀岡智美…1109(10)
双極性障害概念の展開と心因……………坂元 薫…787(7)	日本へのトラウマインフォームドケ
反応性と内因性の境界にて—よみが	アの導入……………川野雅資…1117(10)
えれ! うつ病の状況論……………大前 晋…801(7)	児童福祉におけるトラウマインフォ
適応障害—ストレス因と心因……………平島奈津子…817(7)	ームドケア……………野坂祐子…1127(10)
「神経症」レベルにおける	トラウマセンシティブスクール—全
心因反応の概念の変遷……………岡野憲一郎…825(7)	児童生徒の安心感を高めるアプロ
光と精神医学	ーチ……………中村有吾・岩切昌宏…1135(10)
特集にあたって……………内山 真…871(8)	身体疾患とトラウマインフォームド
光の気分への作用……………内山 真…873(8)	ケア—小児期逆境体験としてのア
光の非視覚性作用—覚醒度および認	トピー性皮膚炎の理解……………上田英一郎…1143(10)
知機能の修飾作用……………竹島正浩・三島和夫…883(8)	物質関連障害および嗜癮性障害と小
睡眠の季節変動と光との関連	児期逆境体験……………小林桜児…1151(10)
……………鈴木正泰・内山 真…891(8)	うつ病に対する小児期逆境体験の影
季節性うつ病と光……………山本真太郎・北島剛司…897(8)	響……………平松洋一・清水栄司…1159(10)
双極性障害の気分安定化を目指す光	非行とトラウマ—自閉スペクトラム
調整療法……………平川博文・寺尾 岳…905(8)	症のケースを念頭に
光と加齢・認知症……………金野倫子…915(8)	……………天野玉記・十一元三…1167(10)

小児期逆境体験と発達性トラウマ障害	笠原麻里	1173 (10)
小児期逆境体験の影響に関する疫学研究	伊角 彩・土井理美・藤原武男	1179 (10)
小児期逆境体験とこころの発達—発達精神病理学の近年の研究動向から	菅原ますみ	1187 (10)
医療現場での怒り—どのように評価しどのように対応するべきか		
特集にあたって	明智龍男	1233 (11)
怒りとは何か?—怒りとは人間にとつての普遍的な感情である	岩満優美	1235 (11)
精神疾患と怒り—怒りがみられやすい精神疾患とは	高井健太郎・塩入俊樹	1243 (11)
不安症の怒りに対応する	小川 成	1253 (11)
双極性障害の怒りに対応する	寺尾 岳	1259 (11)
PTSD と怒り	前田正治	1267 (11)
パーソナリティ障害の怒りに対応する—特に境界性パーソナリティ障害を念頭に	皆川英明	1277 (11)
大人の発達障害の怒りへの対応	山田敦朗	1287 (11)
認知症の怒りに対処する	谷向 仁	1297 (11)
身体疾患患者やその家族の怒りに対応する	安井玲子・清水 研	1305 (11)
看護における感情のマネジメント	加藤宏公	1315 (11)
患者の怒りのマネジメント	福森崇貴	1325 (11)
トラブルマネジメントからみる医療安全と怒り	瀧本禎之	1335 (11)
精神疾患における病識・疾病認識—治療における意義		
特集にあたって	鈴木道雄	1365 (12)
統合失調症における病識と障害認識	賀古勇輝	1367 (12)
双極性障害における病識・疾病認識	鈴木映二・秋山 剛・尾崎友里加	1377 (12)
神経発達症における病識・疾病認識—成人例を中心に	岡田 俊	1385 (12)
認知症患者に病識は必要か?	橋本 衛	1393 (12)
統合失調症患者における病識と薬物療法	西 晃・久保馨彦・竹内啓善	1403 (12)
病識・疾病認識を深める心理教育	藤田博一	1413 (12)
認知行動療法と病識	石垣琢磨	1421 (12)
統合失調症の認知機能リハビリテーション		

最上多美子・池澤 聡・兼子幸一・中込和幸	1429 (12)
精神病早期段階における病識と介入・支援	根本隆洋…1437 (12)
自助グループと病識—「私は病気じゃない」けど「研究」する	向谷地宣明…1447 (12)
司法精神医療における「病識」	五十嵐禎人…1459 (12)

〔オピニオン〕

パーソナリティ障害の現在		
序	飯森真喜雄	133 (2)
パーソナリティ障害は今	牛島定信	134 (2)
パーソナリティ障害は減少しているのか	衣笠隆幸	138 (2)
パーソナリティ障害と現代精神科臨床	林 直樹	144 (2)
パーソナリティ障害は本当に減少しているのか?	市橋秀夫	150 (2)
パーソナリティ障害の概念を問い直す	岡野憲一郎	154 (2)
デジタル化時代のパーソナリティ障害	奥寺 崇	160 (2)
パーソナリティのダイナミズム	平島奈津子	164 (2)
BPD に思う	関由賀子	168 (2)
愛着関連障害としてのパーソナリティ障害	岡田尊司	174 (2)
パーソナリティ障害と摂食障害—「病状が悪い時にパーソナリティ障害のようになる現象」をめぐる	西園マーハ文	178 (2)
精神科急性期治療におけるパーソナリティ障害の現在—グレーゾーン事例との関連も含めて	今井淳司	182 (2)
職域におけるパーソナリティ障害の現在	井上幸紀	186 (2)

〔展 望〕

統合失調症の認知行動療法	池淵恵美	191 (2)
精神科における遠隔診断と治療	堀込俊郎・岸本泰士郎	457 (4)
ブレインバンク—その構築と研究成果	丹羽真一	569 (5)

抑うつと甲状腺機能……………吉村 淳…703(6)
日本におけるオープンダイアローグ
の現在……………斎藤 環…835(7)

〔研究と報告〕

精神科医療機関におけるケースマネ
ジメントサービス利用者と非利用
者の特性の比較—探索的外来患者
調査

山口創生・川副泰成・名雪和美・青木 勉
藤井千代……………81(1)

もの忘れ外来を初診した認知症患者
本人は何を訴えるか—アルツハイ
マー病とレビー小体型認知症を対
象とした検討

岡村有希・加藤 梓・佐藤卓也・今村 徹
……………93(1)

成人 ASD における P-F スタディを
用いた集団一致度(GCR)と ASD
特性との検討

緒方慶三郎・井上勝夫・滝澤毅矢・佐山英美
津崎心也・植松美帆・宮岡 等……………205(2)

アルツハイマー病患者におけるもの
忘れの訴えの検討

……………藤田春香・佐藤卓也・今村 徹…319(3)

双極性障害患者の Perceived Criticism
が6か月後の抑うつ症状および躁
症状に与える影響

成瀬麻夕・堀内 聡・青木俊太郎・井上 猛
坂野雄二……………471(4)

措置入院患者と医療観察法対象者の
比較に基づく現状と支援に関する
検討

小池純子・常岡俊昭・池田朋広・黒田 治
針間博彦・小池 治・稲本淳子……………583(5)

統合失調症として長期入院していた
特発性基底核石灰化症(Fahr 病)
の臨床病理学的特徴

伊藤 陽・吉田浩樹・清水敬三・長谷川まこと
今野公和・中原亜紗・原 範和・宮下哲典
池内 健・豊島靖子・柿田明美……………595(5)

スーパー救急病棟における措置入院
患者の現状と課題

齋藤綾華・山田浩樹・原田敦子・山田真里
宇野宏光・河合秀明・石川文徳・平田亮人

徳増卓宏・高塩 理・岩波 明……………717(6)
成人発達障害検査入院における診断
および心理検査結果の検討

大森 裕・太田晴久・小島 睦・西尾崇志
武藤奈奈・ロンバートはるみ・内田侑里香
今村薫奈・池ヶ谷訓章・加藤進昌・岩波 明
……………853(7)

精神科病院における入院長期化の予

測因子に関する研究—精神科リハ
ビリテーション行動評価尺度
(REHAB)を用いた社会機能にお
ける後方視的研究……………榎木宏之…955(8)

心理的・物理的攻撃の被害、あるい
は加害経験者のいじめ認識の有無
と精神的健康との関連

……………小笹祥子・生地 新…1067(9)

医療観察法指定入院医療機関データ

ベースの活用と課題—多職種スタ
ッフに対するグループインタビュー
—調査から
小池純子・河野稔明・大町佳永・村田雄一
久保正恵・黒木規臣・藤井千代・平林直次
……………1343(11)

気分障害患者における病前および現
在 IQ の臨床的意義—両者の一致
度と主観的 QOL との関連の検討

山岸美香・櫻田華子・金原明子・岡村由美子
里村嘉弘・榊原英輔・松岡 潤・岡田直大
小池進介・神出誠一郎・近藤伸介・笠井清登
……………1469(12)

〔短 報〕

クロザピン治療中にけいれん発作が
出現した統合失調症の1例

神垣 伸・大賀健市・大盛 航・板垣 圭
竹林 実……………103(1)

危険運転と攻撃的な言動から双極性
障害を疑われた進行性核上性麻痺
の1例……………牧 徳彦…109(1)

気分障害患者における WAIS-III 成
人知能検査簡易実施法の有用性の
検討

櫻田華子・山岸美香・金原明子・岡村由美子
里村嘉弘・榊原英輔・松岡 潤・岡田直大
小池進介・神出誠一郎・近藤伸介・笠井清登

.....	213 (2)
語新作ジャルゴンを呈した亜急性脳 炎の1例—失語症と統合失調症に おける言語新作の比較	高橋卓巳・加藤 温...331 (3)
サルコイドーシスおよび糖尿病の治 療中に持続する認知機能障害を呈 したクリプトコッカス髄膜炎の1 例.....	治田倫孝・林 要人・石田 康...727 (6)
精神症状が先行し診断に苦慮した進 行性核上性麻痺前頭葉型認知症の 1例	一 條 慧・渡邊岳海・長瀬幸弘・長瀬輝誼 佐川倫啓・大寄公一・鈴木正泰...965 (8)
癢痒と睡眠障害の原因が疥癬と判明 した自閉スペクトラム症の1例	境 玲子・坂本高志・飯田美紀...1083 (9)
ドパミン作動薬と人参養榮湯の併用 療法が奏功したむずむず脚症候群 の3症例—異常感覚と発現部位の 多様性も含めて.....	堀口 淳...1197 (10)
Clozapine が著効するも副作用から 中止せざるを得ず, asenapin が有 効であった1例	常岡俊昭・杉沢 諭・染村宏法・宮保嘉津真 石川文徳・中村純子・山田真理・佐賀信之 岩波 明...1203 (10)
「ゴミ屋敷」化を繰り返す中高年ひ きこもり女性に対する地域移行支 援の1例	米澤恵子・中村真里・藤川昌典...1353 (11)
炭酸リチウムと降圧薬の併用により 横紋筋融解症を来した1例	山田英孝・石井惇史・八木 深...1479 (12)

〔資 料〕

基本アウトカムマスター (Basic Out- come Master : BOM) を用いた精神 科アウトカム志向型パスの導入	松原拓郎・岡崎勇樹・小島 瞳・上山陽子 鈴木勝彦・山崎玲子・川田和人...219 (2)
統合失調症と器質性精神障害の院内 死亡の死因について—精神科病院 における20年の死亡診断書調査 より	

佐藤謙伍・小林聡幸・齋藤暢是・佐藤勇人 須田史朗.....	339 (3)
Dimensional Anhedonia Rating Scale (DARS) 日本語版の作成と信頼 性・妥当性の検討	山本竜也・疋田一起・首藤祐介・坂井 誠481 (4)
極小/超低出生体重児の自閉症スベ クトラム特性の傾向②—3歳児健 診におけるPARS短縮版を用いた 標準体重児群との比較	中島俊思・伊藤大幸・野田麻理・小池委子 神谷 彩・駒谷少郁佳・二宮加歩子・辻井正次605 (5)
精神運動障害によるメランコリア (内因性うつ病)の鑑別—日本語版 CORE尺度の紹介	玉田 有・井上 猛・大前 晋...971 (8)
うつ病に関する若者のメンタルヘル ス・リテラシー.....	シュレンペル レナ...1089 (9)
Work and Social Adjustment Scale (WSAS) 日本語版の作成と信頼 性・妥当性の検討	山本竜也・古賀佳樹・坂井 誠...1207 (10)
救命救急センターにおける刺創・墜 落外傷自殺企図入院患者の臨床的 特徴	新井久稔・片岡祐一・井上勝夫・滝澤毅矢 大石 智・花島 資・浅利 靖・宮岡 等1485 (12)

〔紹 介〕

多職種連携による認知症在宅復帰プ ログラムの開発—事例を通じた実 践	坂本千晶・藤巻康一郎・西田征治・西迫尚美 重田かおる・土岐 茂・小山田孝裕...113 (1)
人工知能 (AI) 技術と精神科医療	池田 伸・宋 龍平・来住由樹...347 (3)
デンマークの精神科医療と薬物乱用 対策.....	小田晶彦...1215 (10)

〔「精神医学」への手紙〕

注意欠如・多動性障害月報について	山口成良...123 (1)
---------------------------	----------------

精神療法を学ぶためのカルテ記載の

工夫……………布施泰子…615(5)

今なぜ「てんかん」なのか—NCSE

(non-convulsive status epilepticus)の

過剰援用について……………細川 清…1225(10)

〔書 評〕

てんかん学ハンドブック 第4版…池田昭夫…38(1)

思量と願い—精神医学の風景… 神田橋條治…355(3)

気分障害の臨床を語る—変わるこ

と, 変わらないこと……………井上 猛…446(4)

刑事精神鑑定ハンドブック……………西山 詮…834(7)

睡眠の診かた 睡眠障害に気づくた

めの50症例……………内山 真…1099(9)